

新潟高教組

新型肺炎感染症関連速報 ～抗原検査キット配布関連～

2021年8月25日 全組合員配布・分会掲示

8.25 抗原検査キット配布報道

- ・ 県独自の事業で24日午後に突然決定
- ・ 県内公立全校に1箱(10回分)配布
- ・ 運用についてはこれから検討

8月25日(午前)知事会見に対する報道の中で県教委が「学校への抗原検査キットの配布」を進めていることが明らかになりました。

○抗原検査キット配布にかかる報道内容

- ・ 感染拡大に歯止めがかからない中、新潟県内の各学校は順次新学期を迎えている
- ・ 県内の学校に抗原検査のキットを配ることを明らかにした
- ・ 小・中学校、高校などに一定の数を配布するため、県教育庁が発送作業を進めている
- ・ 知事は「密になりやすい学校での感染拡大に危機感を持っている。抗原検査で早く発見し、適切な対応を徹底していくことが必要」と感染者が出た場合の早めの対応を強調した
- ・ 早ければ今週中に届く学校もある

○保体課(小畑課長・石田課長補佐)へ問い合わせ

- ・ どのような経緯で配布することになったのか
→ 県内だけでないが、小・中・高で感染が広がっている。早期に把握するため配布する。
- ・ 体調不良の生徒に対しての別室の確保も難しい中、どのように行うことを想定しているのか
→ どういう場合に抗原検査キットを使用するのかも含めて運用を検討しているところ。
県独自の事業なので、文科省の出している「抗原簡易キットの活用の手引き」と異なることもあるだろう。現状は各校へ届いても保管しておくように指示をしている。
- ・ 体調が悪くなった場合は医療機関への受診が第一ではないか
→ 原則的には体調が悪い場合は医療機関を受診するということに変更はない
こちらにも急な対応で大変。ご理解いただきたい。

○新高教見解

- ・ 検査業務は教職員が担う業務ではない
- ・ 体調が悪い場合は登校、出勤しない(できない)を徹底
- ・ 登校後、出勤後に体調を崩した場合を想定しているようだが、その場合も学校で検査する必要は全くない(陽性、陰性どちらの場合も、その後医療機関を受診)
- ・ 学校で検査することが、感染拡大を防ぐことにつながるのか疑問(意味がない)
- ・ 業務削減がない中、思いつきによる更なる業務負担増

この間新高教本部は、検査業務は教職員が担う業務ではない、万全な検査体制を整えることは不可能、体調が悪くなった生徒は原則帰宅し医療機関を受診など確認してきました。8月17日に政府・文科省が学校での抗原検査の奨励を出していますが、8月23日に保体課と「対応に変わりはない」ことを確認しています。突然の方針変更、どのように行うのかも検討されていないにもかかわらず現場実態を無視した一方的な内容に抗議し、経過説明、適切な対応を求めています。

ご不明な点などがありましたら高教組本部(025-265-4151)までご連絡ください。